

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

OA ①
Ref ②

(11)Publication number : 04-116723

(43)Date of publication of application : 17.04.1992

(51)Int.Cl.

G06F 9/06

G06F 9/06

(21)Application number : 02-236601

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 06.09.1990

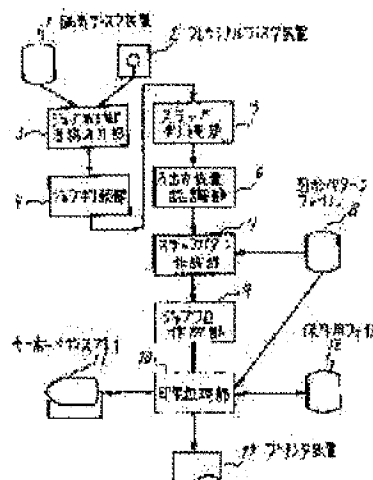
(72)Inventor : KURATA YOJI
SATO KAZUHIRO

(54) JOB FLOW GENERATION SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To make a work time efficient, to average the quality of a job flow and to generate the job flow which is easy to be viewed by automatizing a job flow generation job.

CONSTITUTION: A step pattern generation bit 7 generates the job flow of respective units based on information obtained in a step decoding part 5 and an input/ output device recognition part 6. A graphic pattern to be used as the constitution element of the job flow fetches an image from a graphic pattern file 8 and generates a step pattern by the combination. A job flow generation part 9 generates one final job flow by considering the interface of inter-step in the flow chart of the step unit generated in a step pattern generation part 7. Thus, the job time is made efficient, the quality of the job flow can be averaged and the job flow which is easy to be viewed can be generated.



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-116723

⑬ Int. Cl.⁵

G 06 F 9/06

識別記号

4 3 0 E
4 1 0 C

庁内整理番号

7927-5B
7927-5B

⑭ 公開 平成4年(1992)4月17日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ジョブフロー作成方式

⑯ 特 願 平2-236601

⑰ 出 願 平2(1990)9月6日

⑱ 発 明 者 倉 田 洋 二

東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株式会社内

⑲ 発 明 者 佐 藤 一 宏

東京都港区高輪2丁目17番11号 日本電気ソフトウェア株式会社内

⑳ 出 願 人 日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目7番1号

㉑ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

ジョブフロー作成方式

2. 特許請求の範囲

ジョブフローを作成するジョブ制御言語を入力し、前記ジョブ制御言語のジョブ単位の判定をすると共に、前記ジョブ単位の切出しを行うジョブ判読手段と、

前記ジョブフローを

前記ジョブ単位で切出したステップ単位に分割するステップ判読部と、

前記ステップ単位に分割されたデータの入出力装置の確認を行う入出力装置認識部と、

前記入出力装置認識部で認識された装置に対応する図形パターンを、図形パターンファイルから受領して、ステップ図形パターンを作成するステップパターン作成部と、

前記ステップ図形パターンを含むジョブフローを作成するジョブフロー作成部とを備え、前記

ジョブフローをキーボードディスプレイで監視しつつ作成して成ることを特徴とするジョブフロー作成方式。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はジョブフロー作成方式に関するものである。

〔従来の技術〕

従来、ジョブフローを製図により作成するのに際しては、テンプレート等を使用し、手書きで作図を行っていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

従来は、ステップ毎に手作業で作成していたため、作成者の技量の違いにより、完成品の品質が均一でない場合が生ずることや、フローチャートの書き方の様式が統一されていないという問題点があった。又、ジョブ制御言語に、変更が発生した場合は、書き直さなければならず、特に処理の追加の場合は、非常に手間がかかるという問題点

があった。

〔課題を解決するための手段〕

本発明のジョブフロー作成装置は、ジョブフローを作成するジョブ制御言語を入力し、前記ジョブ制御言語のジョブ単位の判定をすると共に、前記ジョブ単位の切出しを行うジョブ判読手段と、

前記ジョブ単位で切出したステップ単位に分割するステップ判読部と、

前記ステップ単位に分割されたデータの入出力装置の認識を行う入出力装置認識部と、

前記入出力装置認識部で認識された装置に対応する図形パターンを、図形パターンファイルから受領して、ステップ図形パターンを作成するステップパターン作成部と、

前記ステップ図形パターンを含むジョブフローを作成するジョブフロー作成部とを備え、前記ジョブフローをキーボードディスプレイで監視しつつ作成して構成される。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。

1は、図形パターンファイル8から、イメージを取り込み、その組み合わせによりステップパターンを作成する。

9はジョブフロー作成部であり、ステップパターン作成部7で作成されたステップ単位のフローチャートそれぞれのステップ間のインターフェイス（ステップ間のファイルの受け渡し）を考慮しながら、最終的な1つのジョブフローを作成する。又、パラメータの内容により、実行ステップが変わるような制御の図形化も、この部分で行う。

10は印字処理部であり、ジョブフロー作成部9で作成されたジョブフローをプリンタ装置13に出力する。キーボードディスプレイ装置11によって、対話的に操作する事ができ、出力すべき帳票の大きさに合わせた編集もこの部分で行う。又、ジョブフロー作成部9によって作成した一連のジョブフローは、保存用ファイル12に保存する事も可能である。よって、次回、同一のジョブフローが必要になった場合は、この印字処理部10

第1図は、本発明の一実施例の処理のフローチャートである。

3はジョブ制御言語入力部であり、磁気ディスク装置1又はフレキシブルディスク装置2から、ジョブ制御言語を入力する。磁気ディスク装置1は、ライブラリ又は、順編制ファイルを対象とし、フレキシブルディスク装置は、順編成ファイルを対象とする。4は、ジョブ判読部であり、入力されたジョブ制御言語のジョブ単位の判定及びジョブ単位の切り出しを行う。5は、ステップ判読部であり、ジョブ判読部4で取り出されたジョブ単位を、さらにステップ単位に分割し、ステップ単位の認識を行う。6は、入出力装置認識部であり、ステップ判読部5で分割されたステップ単位から、入出力装置に関して、装置媒体の種類・入出力区分・ファイル名等の情報の認識を行う。

7はステップパターン作成部であり、ステップ判読部5及び入出力装置認識部6にて得られた情報をもとに各ステップ単位のジョブフローを作成する。ジョブフローの構成要素となる図形パター

の処理だけで必要なジョブフローを出力する事ができる。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、従来手書きにて行っていたジョブフロー作成作業を自動化する事により、作業時間の効率化と人手を介さない事によるジョブフローの品質の均一化が図られ、かつ見やすいジョブフローが作成できるという効果を有する。又、変更が発生した場合でも、手書きと比較して、容易にジョブフローの変更・保守が可能であるという効果がある。

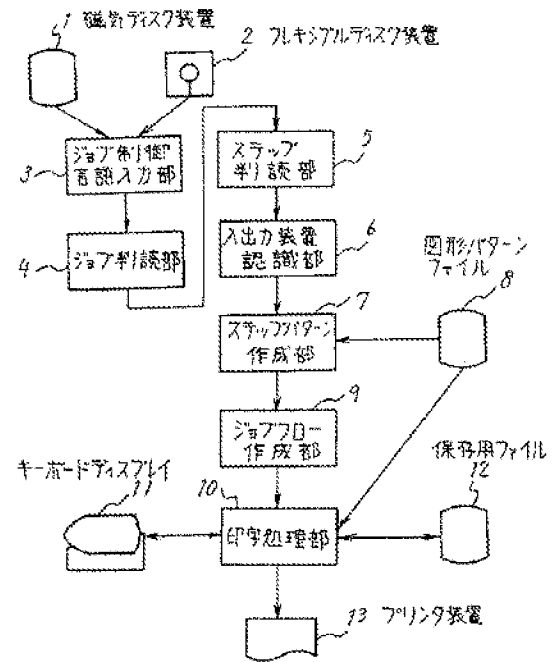
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の処理動作のフローチャートである。

1……磁気ディスク装置、2……フレキシブルディスク装置、3……ジョブ制御言語入力部、4……ジョブ判読部、5……ステップ判読部、6……入出力装置認識部、7……ステップパターン作成部、8……図形パターンファイル、9……

ジョブフロー作成部、10……印字処理部、11
……キーボードディスプレイ装置、12……ジョ
ブフロー保存用ファイル、13……プリンタ装置。

代理人 弁理士 内 原 晋



第 1 図